

報道関係各位

企業、団体、個人が、障がいの有無を超えてつながる、多様性を享受する社会を目指して
スペシャルトーク&プレゼンテーション**オンラインイベント『LIVES TOKYO 2021』開催!!**

テーマ: Collaboration! ~ Diversity が生み出す力を信じて ~

【9 月 26 日 (日) 13:00~16:30、東京ミッドタウンより LIVE 配信】

<https://www.youtube.com/channel/UChRhsFbU9tbbsEwpC-XERUA>一般の方はご視聴にお申し込みが必要です <https://lvestokyo2021.peatix.com/>

認定特定非営利活動法人ハンズオン東京(本部:東京都港区/代表理事:セオドル[トッド]・ギルド)は、障がい者の「就労」を促進するための日本初のプロジェクト「LIVES」の活動を共有し、繋がり・気づく機会として、**9 月 26 日 (日) 13:00 よりトーク&プレゼンテーションを中心としたオンラインイベント『LIVES TOKYO 2021』を開催します。**

ハンズオン東京では、2017 年より、LIVES プロジェクトの当事者・企業・団体等を繋ぐイベント「LIVES TOKYO」を、東京ミッドタウン、またはオンラインで開催しております。今年は、新型コロナ感染拡大防止を鑑み、無観客の会場、東京ミッドタウンから、オンラインにてライブ配信いたします。

LIVES プロジェクトでは、障がいの有無にかかわらず、すべての人が自分自身の力で人生を選択し、社会進出が出来る社会を目指す活動を通年で展開しております。

今年のテーマは「Collaboration!」、サブタイトルを「Diversity が生み出す力を信じて」としました。コロナ禍により社会が急激に変化し、世界中がひっ迫しています。だからこそ、今、私たちが考えるべきことは、障がいの有無とは無関係に、お互いの個性を尊重しながら繋がり、共に生きてゆくことではないでしょうか? このイベントでは、有識者や活動家、パラアスリートによるトークセッション、新しい発想で次世代を切り開こうとする若年層のプレゼンテーションなどを通じて、様々な気づきや繋がりを得る機会を提供いたします。

スペシャルトークセッション**◆【Collaboration! ~ Diversity が生み出す力を信じて~】 13:13~約 30 分**

Opening Keynote LIVES Special 対談

“Collaboration! ~ Diversity が生み出す力を信じて~”

障がいある・なしに関わらず、お互いの個性を尊重し合いながら、コラボしていくことの大切さ、一人一人の意識、それを横に繋げていくことによって、この世の中はきっと変わっていく・・・



米倉誠一郎
Prof. Seiichi Yonekura

現在、法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授、一橋大学イノベーション研究センター名誉教授。学外活動では、ソニー戦略室長やプレリア大学 GIBS 日本研究センター所長などを経て、現在 Creative Response-Social Innovation School 学長であり「一橋ビジネスレビュー」編集委員でもある。一橋大学社会学士・経済学士・社会学士、ハーバード大学博士。専攻は、イノベーションを核とした戦略と組織の歴史的研究。著書に、『経営革命の構造』(岩波新書)、『脳カリスマ時代のリーダー論』(NTT 出版)、『創発的破壊: 未来をつくるイノベーション』(ミシマ社)『オープンイノベーションのマネジメント』(有斐閣) など多数。障がい者ロックンローラー。



乙武洋匡
Hirotada Otodate
作家

1976 年、東京都出身。先天性四肢不備により、幼少時より電動車椅子にて生活。大学在学中に著した『五体不満足』が 600 万部を超えるベストセラーに。海外でも翻訳される。大学卒業後はスポーツライターとして活躍した後、小学校教師として教育活動に尽力する。ニュース番組で MC を務めるなど、日本のダイバーシティ分野におけるオピニオンリーダーとして活動している。



LIVES TOKYO 2021

Keynote

障害の有無と無関係に互いの個性を尊重しながらコラボレーションする大切さなど、オピニオンリーダーの米倉誠一郎教授と乙武洋匡さんのお二人が日本における Diversity の現状と未来を鋭く切りとります

◆【コラボレーションでアップデート!】 15:17~約 30 分

LIVES TOKYO 2021

TALK

東京 2020 パラリンピックメダリストの水泳の富田宇宙さん、柔道の小川和紗さん、元車いす陸上競技選手の花岡伸和さん、元車いすテニス日本代表の本間正広さんによるトークセッション。MC は久下真以子さんです

Closing Keynote LIVES Special talk session

「コラボレーションでアップデート!」



MC 久下真以子

フリーアナウンサー
日本一パラを獲れるアナウンサーとして活躍
東京 2020 パラリンピック
も全日朝日取材



花岡伸和

Nobukazu Hanaoka
一社) 日本パラ陸上競技連盟
副理事長
NPO 法人) 関東/パラ陸上競技協会
理事長 千葉県教育委員
元車いす陸上競技選手



富田宇宙

UCHI TOMITA
東京 2020 パラリンピック 水泳
男子 400m 自由形 S11 銀メダル
男子 100m バタフライ S11 銀メダル
男子 200m 個人メドレー SM11 銅メダル 高校 2 年生で観望色乗業
性転になる



本間正広

Masahiro Honma
車いすテニスプレーヤー
スポーツフォートグラファー
ワールドチームカップ日本代表メ
ンバー (2010, 2011, 2018 年)
バリアフリー設計 8R 設計一級建
築士事務所 代表



小川和紗

Kazusa Ogawa
東京 2020 パラリンピック 柔道女
子 70kg 級 銅メダル
2020 年 ドイツオープン 70kg 級
銅メダル
先天性の視神経腫瘍。視力は両目
とも 0.01 程度小柄ながら得意技は
得意い投げ

◆【アウトサイダーアートをビジネスにどう活かすか？】 14:12～約 20 分

LIVES Special talk session
「アウトサイダーアートをビジネスにどう活かすか？」

アート作品が少ない日本のオフィス。そして日本国内のアウトサイダーアートの評価が世界的に低いこと。この 2 つの課題を念頭に、LIVES*ART では、協賛企業のキャラバン展示や、アートのレセプションを展開しています。この 1 年間、4 社で展開しました。これからのオフィスは、インベーションを生む空間。アウトサイダーアートが感性をよび起こします！



ファシリテーター
若尾尚美
Naomi Wakao



NPO 法人 Alon Alon 理事長
那部智史
Satoshi Nabe



一般社団法人 Arts and Creative Mind 代表理事
杉本志乃
Shino Sugimoto

LIVES TOKYO 2021
Art

知的障がい者就労施設 NPO 法人 Alon Alon 理事長兼愛宕ロータリークラブ会長的那部智史さんと一般社団法人 Arts and Creative Mind (ACM) 代表理事の杉本志乃さんが、「アウトサイダーアート」の可能性についてクロストークを行います

『LIVES TOKYO 2021』開催概要

- 開催日時：9月26日（日）13:00～16:30（予定）
- 開催方法：東京ミッドタウンでのステージ進行を公式 YouTube チャンネルよりライブ配信
- 視聴方法：<https://livestokyo2021.peatix.com/>
*一般の方はご視聴にお申し込みが必要です
- 視 聴 料：無料
- 公式チャンネル：<https://www.youtube.com/channel/UCHrHsFbU9tbbsEwpC-XERUA>
- コンセプト動画：<https://www.youtube.com/watch?v=9ydCPDveKD>
- 主 催：認定 NPO 法人 ハンズオン東京

その他の主なプログラム

◆【LIVESMILE トーク】 ①13:43～約 10 分 ②14:32～約 10 分

障がい当事者や支援する人が、これまでの経験、これからの目標、社会への希望などについてディスカッションし、社会を変えるためのプレゼンテーションです。

LIVES TOKYO 2021
LIVESMILE TALK 1

LIVESMILE TALK
障がい当事者や支援する人が、これまでの経験、これからの目標、社会への希望などについて話し、社会を変えるための覚悟をするプレゼンテーション



成澤俊輔
Shinji Nakamura
経営コンサルティング



酒井春奈
Haruka Nakai
立教大学 障害学生支援室
支援コーディネーター（社会福祉士）



松井春花、石井里穂
Haruka Matsui, Rina Imai
LIVES キャンパサー（OPINION）
スタッフ

LIVES TOKYO 2021
LIVESMILE TALK 2

LIVESMILE TALK
障がい当事者や支援する人が、これまでの経験、これからの目標、社会への希望などについて話し、社会を変えるための覚悟をするプレゼンテーション



落合啓士
Harumi Ochiai
元アパレルデザイナー・日本代表、
松本山崎 B&B 監製



伊藤太郎
Teru Ito
visual COO's 所属
アーティスト



Moeka
スマイルウォーキング倶楽部 所属
ファッションモデル・女優

◆【TECHNOLOGY アイデアソンより】 14:42～約 30 分

今年 5 月に「2030 年のスマートシティ」をテーマとしたアイデアソンを開催。その中で優秀賞を受賞した 2 チームがプレゼンテーションを行います。オリイ研究所の吉藤健太郎さんも特別出演。

LIVES TOKYO 2021
Technology

LIVES*Technology アイデアソン

LIVES テクノロジーチームは「2030 年のスマートシティ」をテーマにアイデアソンを開催。多様な個性を持つ若者たちが暮らすしやういづつくりを実現するためのテクノロジーについて、障がいのある人の視点からアイデアを創出しました。その中から優秀賞を受賞した 2 チームのアイデアを発表します。皆さんと一緒に、未来のスマートシティを体験してください。



Team 2: つながり 120%
テーマタイトル：サインズハウス
～デジタルとリアルで動く未来の家～



Team 5: GoGo Future
テーマタイトル：交差点の新しい世界

◆【Entertainment エンターテイメント】 15:50～約 10 分

バイオリニストの白井崇陽さん、シンガーの Beverly さんが東京ミッドタウンの会場でライブ出演。その他、昨年もゲスト参加いただき、東京 2020 パリンピック閉会式で演奏された 7 本指のピアニストの西川悟平さん、同じく東京 2020 パリンピック閉会式にドラム付き車いすで出演された小澤綾子さん、そして、東京 2020 パリンピック開会式で国歌斉唱を担当されたシンガーソングライターの佐藤ひらりさんほか、ご自身の特性を活かして活動を行うアーティストの皆さんと、LIVES プロジェクトのテーマソング「Happy now」を映像でコラボレーションします。



【LIVES プロジェクト】について

「毎日仕事をし、毎日ごはんを食べて、毎日楽しく笑う。」そんな毎日の繰り返しを、あたり前と思って暮らしています。しかし、そのあたり前の毎日を容易に過ごせない人たちがいます。日本においては、まだまだ社会に出て、生活をする事が難しい環境です。障がいなど多様な個性を持つ人たちは、みんなと同じように社会に出て働きたいと思っても、まだ日本では環境が整っていません。みんなが一緒になって「はたらく」環境をつくり、美味しくごはんを「たべて」、楽しく「わらい」あえる社会をつくりたい、という想いから日本初の試み「LIVES プロジェクト」を始動しました。

障がい者が健常者と変わらずに自身の力で人生を選択するために、「就労」に焦点をあて、日本における障がい者の個性を活かした就労ができる環境を整えていけるように、様々な企業、団体を交えて、社会へ働きかけを行ってまいります。障がい者&健常者の共同イベント・PR チームを結成し、障がい者の気持ちを理解したイベントをつくり上げるために、それぞれの強みを活かして協力しながら準備を進めています。障がいなど多様な個性を持つ人たちの中には、個々の能力を活かし、可能性を広げている人たちもいます。

◎ <http://hataraku-taberu-warau.jp>

【ハンズオン東京】について

認定 NPO 法人ハンズオン東京は、世界 37 カ国で 208 のボランティア団体を統括する「Points of Light 財団」の傘下団体として、2006 年に活動を開始しました。国際交流から生まれたボランティア団体であるハンズオン東京は、コミュニティ（地域社会）のニーズに合った有意義なボランティア活動の場を二か国語で提供することにより、社会へ貢献し、ボランティアリズムを浸透させ、リーダーたちを育成することをミッションとしています。スペシャルニーズの方、障がいのある方を支援する団体、NPO 法人、社会福祉法人、教育機関、医療機関などと協力し、地域社会のニーズに合ったボランティアの機会を企画・提供しています。また、コロナ禍では、医療機関や社会福祉施設（児童養護施設、シニアホーム、スペシャルニーズの団体など）へ、必要としている物資支援のサポートをするなど、「コミュニティのニーズ」に重点を置き、「いま、私たちにできることは何か？」を常に考え、新しい取り組みで活動をしています。

◎ <https://www.handsontokyo.org/>

【当日のイベント会場の取材について】

- ・東京ミッドタウン「ホール A」を会場に無観客で開催し、YouTube 配信するイベントでございます。
- ・つきましては、東京ミッドタウンの会場での取材を希望される際は、事前に以下の問い合わせ先にございます PR 担当の大柳までご連絡ください。新型コロナ感染拡大防止の観点より、事前申請なしでの当日受付はございませんので、ご了承ください。
- ・ご取材当日は報道関係者受付での新型コロナ抗原検査にご協力ください。

＜現地取材申請概要＞

- ・東京ミッドタウン「ホール A」の取材を希望されるメディアの方は、9 月 25 日（土）17 時までに PR 事務局宛にメール又は担当の大柳までお電話でご連絡ください。

【必要事項】

- ・会社名、媒体名（番組名）、所属、お名前、合計取材人数
- ・カメラの有無
- ・ご連絡先（携帯番号、メールアドレス）

【連絡先】

- ・大柳携帯：090-4812-1720
- ・事務局メールアドレス：press@syncagr.com

＜＜問い合わせ先＞＞

- ◇報道関係（同プレスリリース内容）
『LIVES TOKYO 2021』LIVES プロジェクトチーム PR 事務局（㈱SYNCA 内）
担当：大柳、久保
TEL：090-4812-1720／E-mail press@syncagr.com
- ◇一般（紙面やオンエア時の読者・視聴者からの問い合わせ）
『LIVES TOKYO 2021』LIVES プロジェクトチーム
E-mail livesproject@handsontokyo.org